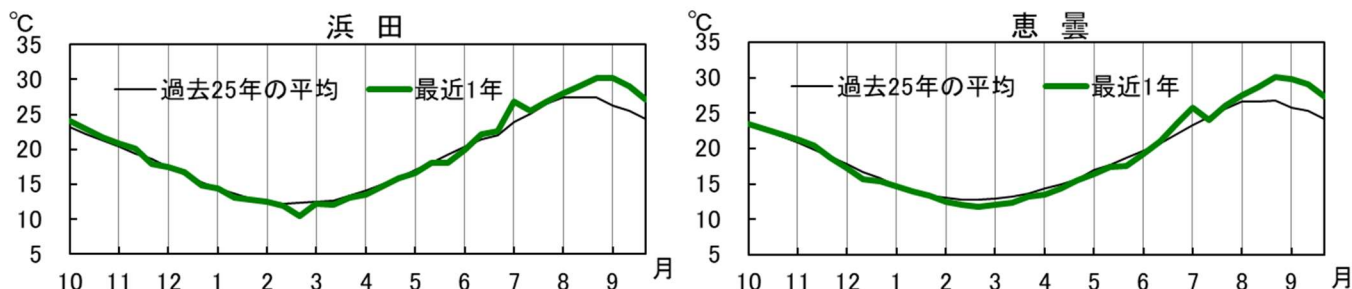




## 《9月の海況》



| 9月 | 浜田     |       |       | 恵曇     |       |       |
|----|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
|    | 評価     | 平均    | 平年差   | 評価     | 平均    | 平年差   |
| 上旬 | はなはだ高め | 28.8℃ | +3.4℃ | はなはだ高め | 28.7℃ | +3.6℃ |
| 中旬 | はなはだ高め |       |       | はなはだ高め |       |       |
| 下旬 | はなはだ高め |       |       | はなはだ高め |       |       |



## 《9月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、マアジは平年の2割、前年の1.1倍、ブリは平年の2.8倍、前年の41倍、サバ類は平年の1割以下、前年の1割でした。隠岐地区ではマイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は34.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、マイワシは1,831トンで平年の6割、前年の3割、ブリは685トンで平年の1.2倍、前年の8割、マアジは594トンで平年の1.1倍、前年の6割、ウルメイワシは522トンで平年の5割、前年の1.0倍でした。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の92%）主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は66.9kgで平年並みでした。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）のみの漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は106kgで平年を上回りました。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アカムツ、マアジを主体に、1統1航海当りの漁獲量は12.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.1倍、アカムツは平年の1.0倍、マアジは平年の1.4倍でした。その他、マダイは平年の1.2倍と好調でしたが、ケンサキイカ、マトウダイおよびカワハギ類は平年の9割、アンコウ類は平年の8割、ムシガレイは平年の5割、アナゴ・ハモ類は平年の4割の水揚げでした。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではヤリイカ、アナゴ・ハモ類、アカムツ主体の漁況で、総漁獲量は225トンでした。1統1航海当りの漁獲量は864kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ヤリイカは平年の4.2倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍、アカムツは平年の1.1倍でした。その他、ホウボウおよびムシガレイは平年の1.0倍、マトウダイは平年の9割、ソウハチは平年の8割、アンコウ類およびニギスは平年の4割、キダイは平年の3割の水揚げでした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、カジキ類（主にバショウカジキ）、マアジ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は16.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、カジキ類は平年の3.1倍でしたが、サワラ類は平年の5割、マアジは平年の6割、サバ類は平年の3割でした。石見地区ではサバ類、カワハギ類、サワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は15.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の1.1倍、カワハギ類は平年の4.5倍でしたが、サワラ類は平年の7割でした。隠岐地区ではカンパチ、マイワシ、カジキ類（主にバショウカジキ）主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は6.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、カンパチは平年の5.0倍、マイワシは平年の1.3倍、カジキ類は平年の7.0倍でした。

## 【釣り・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、マダイ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は25.5kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の2.7倍、マダイは平年の1.5倍、ブリは平年の1.3倍でした。石見地区ではケンサキイカ、ヒラマサ、ブリ、ヒラメ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.3kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の1.9倍、ヒラマサは平年の5割、ブリおよびヒラメは平年の7割でした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類、ケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.6kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の2.0倍、ケンサキイカおよびカサゴ・メバル類は平年の5割でした。

# 【令和 7 年 9 月の漁獲統計】

| 漁業種類            | 地区 | 主要魚種               | 総漁獲量     |       |       | CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量) |       |       |
|-----------------|----|--------------------|----------|-------|-------|-----------------------|-------|-------|
|                 |    |                    | 漁獲量      | 前年比 % | 平年比 % | 漁獲量                   | 前年比 % | 平年比 % |
| 中型まき網           | 浜田 | マアジ                | —        | —     | —     | —                     | —     | —     |
|                 | 隠岐 | マイワシ               | 3,730 トン | 38%   | 56%   | 34.5 トン               | 47%   | 62%   |
| イカ釣り<br>(5トン以上) | 浜田 | ケンサキイカ             | 4.0 トン   | 27%   | 73%   | 66.9 kg               | 55%   | 78%   |
|                 | 西郷 | スルメイカ              | 0.5 トン   | 21%   | 19%   | 106 kg                | 199%  | 162%  |
| 沖合<br>底びき網      | 浜田 | キダイ、アカムツ、マアジ       | 157 トン   | 145%  | 86%   | 12.1 トン               | 156%  | 103%  |
| 小型<br>底びき網      | 大田 | ヤリイカ、アナゴ・ハモ類、アカムツ  | 225 トン   | 97%   | 84%   | 864 kg                | 143%  | 117%  |
| 定置網<br>(大型)     | 出雲 | サワラ類、カジキ類、マアジ、サバ類  | 210 トン   | 68%   | 54%   | 16.2 トン               | 68%   | 51%   |
|                 | 石見 | サバ類、カワハギ類、サワラ類     | 59.8 トン  | 127%  | 98%   | 15.0 トン               | 95%   | 73%   |
|                 | 隠岐 | カンパチ、マイワシ、カジキ類     | 13.3 トン  | 135%  | 71%   | 6.6 トン                | 203%  | 107%  |
| 釣り・縄            | 出雲 | ケンサキイカ、マダイ、ブリ      | 25.5 トン  | 101%  | 127%  | 25.5 kg               | 142%  | 125%  |
|                 | 石見 | ケンサキイカ、ヒラマサ、ブリ、ヒラメ | 16.9 トン  | 58%   | 88%   | 20.3 kg               | 95%   | 108%  |
|                 | 隠岐 | ブリ、カサゴ・メバル類、ケンサキイカ | 8.0 トン   | 65%   | 62%   | 18.6 kg               | 116%  | 102%  |

※ 平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業の CPUE は 1 経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約 20 年に 1 回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり〇〇」：約 10 年に 1 回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや〇〇」：約 4 年に 1 回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約 2 年に 1 回の出現確率である±0.5℃程度の高さ